

# フィルムコミッション通信 土浦ロケ地案内



土浦フィルムコミッションでは、映画やテレビ番組などのロケ撮影を支援しています。映像作品の中で、土浦のまちはどのように映し出されているのでしょうか。市内の撮影スポットを紹介します。

岡土浦フィルムコミッション(移住・定住戦略室内) ☎内線2324

## ドラマ 「10回切って倒れない木はない」

日本テレビ

放送日／【最終話】令和8年6月14日(日)

ロケ出演俳優

志尊 淳、京本 大我、  
キム・ヨンフン、田辺 誠一

ロケ地

土浦協同病院

ロケのエピソード

ミンソク(志尊淳)が生き別れの父(田辺誠一)と再会し、わだかまりを抱えながらも、父の言葉で前を向く決心をしたシーンなどを撮影しました。

撮影が決定したのは6月3日。撮影日は4日後の6月7日でした。限られた時間のなかで、土浦協同病院のご協力のもと撮影が行われました。日本の病院と韓国のリハビリステーションの設定で使用し、韓国の設定のシーンでは細部の張り紙まで韓国語で作り込まれました。

この日はクランクアップの日で、撮影終了後、土浦ロケに参加していた俳優の方々は花束を贈呈されていました。



## ドラマ 「コンビニ兄弟 テンダネス門司港こがね村店」

NHK総合

放送日／【第8話】令和8年6月16日(火)

ロケ出演俳優

加藤 シゲアキ

ロケ地

朝日峠展望公園

ロケのエピソード

ドラマの舞台は、北九州市門司港にあるコンビニ「テンダネス」。加藤シゲアキさんは、店長・三彦(中島健人)の兄・一彦役で、第8話で初めて登場しました。世界を放浪している役柄で、景色の良い高台から街を見下ろすシーンを撮影しました。

撮影当日は快晴ではなく残念でしたが、薄曇りでも眼下の景色はよく見えていたので、撮影隊の方々は胸を撫でおろしていました。

